

川越市農業委員会の農地利用最適化推進員候補者の推薦又は応募の状況

推薦又は応募する区域名:田面沢【定数1】

推薦 又は 応募 の別	被推薦者(推薦を受ける者)又は応募者(応募する者)					推薦者(推薦する者)						推薦又は応募の理由	推薦 又は 応募 する 区域	農業委 員への 推薦又 は応募 の有無
	氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	経 歴	農 業 経 営 の 状 況	個人による推薦		法 人 又 は 団 体 に よ る 推 薦							
			学歴 職歴 公職歴 その他の職歴 免許・資格・表彰歴	経営形態 営農類型(主な作物) 農業従事年数 年間農業従事日数 耕作面積	氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	組織の名称 代表者又は 管理人 の氏名	活動の主 たる目的	構成員の 数(人)	構成員の 資格要件				
1 推薦	内田 茂和	農業 ・ 69 ・ 男	国際航空専門学校 整備科 (昭和51年4月～昭和53年3月 卒業) 日本農林ヘリコプター(株)(昭和53年4月～平成14年12月) 朝日ヘリコプター(株)(平成22年8月～令和4年3月) 農業(令和5年1月～現在) いるま野農業協同組合小江戸支店野田支部 支部長 (令和8年4月～現在) 普通車(昭和51年4月22日)	経営形態 兼業 営農類型(主な作物) 水稻 農業従事年数 34年 年間農業従事日数 200日／年 耕作面積 577アール	長 峯 正	農業 ・ 75 ・ 男	—	—	—	—	【推薦理由】 内田氏は農業を引き継ぎ、就農から34年の経験があり、農業者として豊富な経験を有し、農業経営にも精通しています。 内田氏は地域の農業者の中でも中心的な存在として地域農業の発展に貢献しています。 また、地域の農業の状況や農家の事情などに明るく地域の担い手や出し手の相談役になるなど、地域における信任が厚く担い手への農地集積や遊休農地発生の未然防止、解消など、農業委員会が行う農地利用最適化の推進に貢献できると考えられることから内田氏を推薦します。 【候補者の抱負】 近年、田面沢地区においても遊休農地が増加してます。農地利用最適化推進委員として、地区の農業者と話しあいながら遊休農地の発生防止や解消に取り組んでいきたいと考えています。また、地域の農地利用の最適化を目指し、担い手の発掘や育成に取り組むなど、担い手への農地の集積・集約を進めていきたいと考えており、農業を通して地域の活性化を行なっていきたいと考えておりますのでよろしくお願いします。	田面沢	無	

	推薦 又は 応募 の別	被推薦者(推薦を受ける者)又は応募者(応募する者)				推薦者(推薦する者)						推薦又は応募の理由	推薦 又は 応募 する 区域	農業委 員への 推薦又 は応募 の有無	
		氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	経 歴	農 業 経 営 の 状 況	個人による推薦		法 人 又 は 団 体 に よ る 推 薦							
				学歴 職歴 公職歴 その他の職歴 免許・資格・表彰歴	経営形態 営農類型(主な作物) 農業従事年数 年間農業従事日数 耕作面積	氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	組織の名称 代表者又は 管理人の氏名	活動の主 たる目的	構成員の 数(人)	構成員の 資格要件				
2	応募	島村 博子	会社員、 行政書士 ・ 65 ・ 女	東京農業大学 農学部 農学科 (昭和54年4月～昭和58年3月 卒業) 農林水産省本省(昭和58年4月～令和6年3月) 行政書士島村博子事務所(令和7年4月15日～現在) 脱炭素推進機構株式会社(令和6年4月1日～現在) 農林水産省本省(国家公務員)(昭和58年4月～令和6年3月) 中型自動車免許(昭和54年10月5日) 英検2級(平成30年6月13日) 職業紹介責任者講習履修(令和6年8月19日) 行政書士登録(令和7年4月15日) 令和7年度農村プロデューサー養成講座 実践コース履修 (令和8年3月12日)	経営形態 農業経営を行っていない 営農類型(主な作物) 農業従事年数 年間農業従事日数 耕作面積	—	—	—	—	—	—	—	【応募理由】 私は前職で農林水産省に30年以上務め、農作物等の品質改良、生産振興の分野を主に携わって、農業経営の継続は、人手不足、気候変動に伴う作目の変更や農作物や林産品の価格維持等の問題はあるものの、今後も小規模ながら国内の農業、山林は維持継続できると考えていた。昨年、農林水産省主催の農村プロデューサー養成講座を受講したが、東北の一地方都市が十数年後には都市部との境の集落は真っ白な耕作放棄地が広がる予想図を見せられ日本の国内の大問題なのだとの認識を新たにした。自分が20年以上住み暮らしている地元であり、かつ首都圏への利便性も優れた川越の地でも他人事でない、地域の多面的機能も備えた農業地帯の維持活動のためにお手伝いできないかと応募した。 【候補者の抱負】 会社では農林水産省の果樹農業構造転換対策のソフト事業を受注担当しており、この事業での取材を通して得た、果樹産地の危機的状況を打開するべく省力化、効率化、大規模化を進めている個人農業者や農業法人のネットワーク化等を活用し、川越の畑作中心の地帯にも活用したいと考える。 行政書士としては、地域の農地の相続が相続人にとって”痛み分け”と忌み嫌われ、大きな問題となっている現状を何とか打開したいと考えている。通常の農地の宅地等他の構造物用地に転用する手続きを進める仕事から、農業の担い手、農地所有適格者法人への貸付け等も考慮し、農業生産に有効な農地は耕作可能な土地を集積出来るシステムを講じられるような手立てを探し進めていきたい。 労働力として障がい者等施設利用者の方々のやりがいのある仕事になりうる農作業、外国人労働者の雇用の面も考えていきたい。	田面沢	無

川越市農業委員会の農地利用最適化推進員候補者の推薦又は応募の状況

推薦又は応募する区域名:川越【定数1】

推薦 又は 応募 の別	被推薦者(推薦を受ける者)又は応募者(応募する者)					推薦者(推薦する者)						推薦又は応募の理由	推薦 又は 応募 する 区域	農業委 員への 推薦又は 応募の有無
	氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	経 歴	農 業 経 営 の 状 況	個人による推薦		法 人 又 は 団 体 に よ る 推 薦							
			学歴 職歴 公職歴 その他の職歴 免許・資格・表彰歴	経営形態 営農類型(主な作物) 農業従事年数 年間農業従事日数 耕作面積	氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	組織の名称 代表者又は 管理人の氏名	活動の主 たる目的	構成員の 数(人)	構成員の 資格要件				
1	推薦	鈴木 政明	農業 ・ 65 ・ 男	東洋大学 経営学部 経営学科 (昭和57年4月～昭和61年3月 卒業) 農業(平成29年4月～現在) 埼玉縣信用金庫(昭和61年4月～平成29年3月) 農地利用最適化推進委員(令和7年9月～現在) いるま野農業協同組合総代(令和5年11月～令和8年11月) 宮元町南部支部支部長(令和6年4月～令和7年3月) 中型免許(昭和58年5月26日) 大型特殊免許(令和6年11月1日)	経営形態 専業 営農類型(主な作物) 水稻(米) 農業従事年数 9年 年間農業従事日数 200日／年 耕作面積 75アール	金子 昌弘	農業 ・ 67 ・ 男	—	—	—	—	【推薦理由】 鈴木氏は企業に長年勤めた後、農業を引き継ぎ、9年の農業経験があります。農業者として豊富な経験を有し農業経営に精通しております。鈴木氏は地域の農業の状況や農家の事情に明るく地域の交流を大切にしている方なので地域からの信頼の厚い方です。また、地域の会合で積極的に農業の在り方について積極的に発言されるなど大変農業に熱意のある方です。 そのようなお人柄の方なので農地利用最適化推進に貢献していただけたと考え、鈴木氏を強く推薦いたします。 【候補者の抱負】 農地利用最適化推進委員として、区域の農地パトロールを実施し、遊休農地の実態把握と発生防止・解消、また農地の違反転用発生防止等について、重点的に取り組んで参ります。 最近は、川越区域の農地においても、農業者の高齢化が進み、担い手もないことから、遊休農地になる可能性が高い傾向にあります。地域の農業者との会話・情報収集等により、担い手の発掘・育成に取り組んで参ります。また、農地の集積・集約を更に進めて行きたいと思います。今後も農業を通して地域の活性化を図っていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。	川越	無

川越市農業委員会の農地利用最適化推進員候補者の推薦又は応募の状況

推薦又は応募する区域名:山田【定数1】

	推薦 又は 応募 の別	被推薦者(推薦を受ける者)又は応募者(応募する者)				推薦者(推薦する者)						推薦又は応募の理由	推薦 又は 応募 する 区域	農業委 員への 推薦又 は応募 の有無
		氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	経 歴	農 業 経 営 の 状 況	個人による推薦		法 人 又 は 団 体 に よ る 推 薦						
				学歴 職歴 公職歴 その他の職歴 免許・資格・表彰歴	経営形態 営農類型(主な作物) 農業従事年数 年間農業従事日数 耕作面積	氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	組織の名称 代表者又は 管理人の氏名	活動の主 たる目的	構成員の 数(人)	構成員の 資格要件			
1	推薦	齊藤 善和	農業 ・ 64 ・ 男	明治大学 工学部 建築学科 (昭和57年4月～昭和61年3月 卒業) 清水建設株式会社(昭和61年4月～令和9年1月) 農業(令和6年4月～現在) 寺山川下農家組合組合長(平成30年4月～平成31年3月) JAいるま野農業協同組合支部長(令和6年4月～令和7年3月) 中型免許(昭和57年9月7日)	経営形態 専業 営農類型(主な作物) 水稻(米) 農業従事年数 12年 年間農業従事日数 200日／年 耕作面積 100アール	岡部 賢司	農業 ・ 76 ・ 男	—	—	—	—	【推薦理由】 齊藤氏は12年前から会社員との兼業で水稻栽培に携わり、令和6年から大型農機を導入し本格的に農業経営に取り組んでいます。こういったことから地域農家の方々から頼られ若手農業者の中心的存在として地域農業の発展に貢献しています。 また、寺山川下農家組合長やJAいるま野農業協同組合寺山支部長等を歴任し、地域農業の状況や農家事業などに明るく、地域の担い手や出し手の相談役になるなど地域における信任が厚く担い手への農地集積や遊休農地発生の未然防止・解消など、農業委員会が行う農地利用最適化の推進に貢献出来ると考えることから、齊藤氏を推薦します。 【候補者の抱負】 近年、山田地区においても遊休農地が増加しています。 農地利用最適化推進委員として、地区の農業者と話しあいながら遊休農地の発生防止や解消に取り組んでいきたいと考えています。 また、地域の農地利用の最適化を目指し、担い手の発掘や育成に取り組むなど、担い手への農地の集積・集約を進めていきたいと考えており、農業を通して地域の活性化を行っていきたいと考えておりますのでよろしくお願いします。	山田	無

推薦 又は 応募 の別	被推薦者(推薦を受ける者)又は応募者(応募する者)				推薦者(推薦する者)						推薦又は応募の理由	推薦 又は 応募 する 区域	農業委 員への 推薦又 は応募 の有無
	氏 名	職業・ 年齢・ 性別	経 歴	農 業 経 営 の 状 況	個人による推薦		法 人 又 は 団 体 に よ る 推 薦						
			学歴 職歴 公職歴 その他の職歴 免許・資格・表彰歴	経営形態 営農類型(主な作物) 農業従事年数 年間農業従事日数 耕作面積	氏 名	職業・ 年齢・ 性別	組織の名称 代表者又は 管理人の氏名	活動の主 たる目的	構成員の 数(人)	構成員の 資格要件			
2 応募	安 永 知 広	農業・ 48・ 男	日本農業実践学園 経営部 本科 (平成9年4月～平成11年3月卒業) (有)グリーンサービス(平成11年4月～平成20年11月) (有)新井農園(平成22年4月～平成24年9月) 石川商事(株)自動車リサイクルセンター (平成24年9月～平成31年2月) 農業(令和元年1月～現在) (株)CRS埼玉(令和8年9月～現在) 福島県農業青年クラブ連絡協議会副会長 (平成18年4月～平成19年3月) 農業機械士(機械)(平成17年1月6日) フォークリフト運転技能講習(平成18年3月20日) けん引(農耕車限定)免許 (平成19年12月18日) 日商簿記検定2級合格 (平成23年2月26日) 車両系建設機械(新解体)運転技能講習(平成28年1月17日)	経営形態 兼業 営農類型(主な作物) 水稻 農業従事年数 8年 年間農業従事日数 150日/年 耕作面積 4307ール	—	—	—	—	—	—	【応募理由】 市内にて兼業で稲作経営をしています。直播水稻の作付を来年度1.5ha拡大して4.3haとし、更なる経営拡大を目指す上で、分散化の著しい現状の農地の集約化を促進し、農作業効率向上による作業コスト削減等の必要性を日夜痛感しております。そんな折、「担い手への農地の集積・集約化を始めとした農地の利用最適化の推進に熱意と識見を有する者」との当委員の募集要項から、率直に自らが最適任であると応募致した次第です。 【抱負】 ・農地中間管理機構(農地バンク)の周知強化… 言うまでもなく、農地の貸借は農地中間管理機構(農地バンク)を介した契約のみであると義務付けられておりますが、自らも実際にこれらの農地貸借活動をする中、依然周知が不十分であるとの認識でいます。当委員の活動の中で周知徹底を当然していく所存です。また、申請書の様式も従来より煩雑であり、改善の余地を農政課職員とも連携の上、模索していきたく思います。 ・農地の適正利用・遊休農地発生防止に向けた地権者への積極的注意喚起・指導徹底… これまでも、農業委員会事務局による農地パトロールや当委員による月当たり8日間の農地利用最適化への活動が実施されて来たであろうにもかかわらず、少なくとも我が地区においては改善がほとんど見られていない事態に、これまで一体何をしてきたのかと四六時中、憤りを覚えております。既に農地の貸借・売却の意向が示されていても実行されずに膠着状態のケースも多く政治・行政全体の課題であると言えます。只それ以前に、遊休農地化しているにもかかわらず、担い手への貸し出しを特段の事情無く頑なに拒んでいる地権者も見受けられますが、地権者の意思だからと平然と見過ごられているのが現状であり論外です！…こうしたケースには、活動の中において地権者の方には農地の所有するに当たっての責任と周辺地域への影響等の認識を強く促すべく指導を徹底していく所存です。 ・農地の分散化解消、集約化の実行… 農地の分散化解消、集約化の可否は、特に稲作経営者にとっては言うまでもなく死活問題であり、緊急課題です！…巨額な公費を投じて基盤整備をせずとも、農地所有者同士名義交換を活性化させる事で農地の分散化を多少なりとも解消出来れば日々の農作業は格段に楽になり、後の世代への負担も大幅に軽減出来ます。委員となった際は、活動の中でこれらの提案・手続等の斡旋・委任状を用いての仲介等、時間の許す限り実施していく所存ですが、それ以前に私自身が実際に経営規模拡大の活動をする最中、これまで担い手への農地の集積・集約化を掲げて当委員の職責に就いていたであろう皆の方々、並びに農業委員会事務局自身・議会・市長・JA等に上記の提案・訴えを再三して参りましたが、「今までやったことが無い」「難しい」「そもそもそうした発想自体無い」等、これらに対する意欲の著しい欠如には、只々愕然とする有り様であり、まずはこれらに関わる方々全ての意識自体の改善を問題提議しなくてはなりません。また、この様に声を挙げた者が地域社会において波風を立てて秩序を乱す厄介者的存在となる事態は断じて許されるものではありません！…関係機関等による第3者的な積極的現場介入の実施を、前述の遊休農地に対する指導徹底と合わせて地権者の意思とか農地貸借は個々の事案などと言わず、重ねて訴えていく所存です。 市民の皆様におかれましては、HP上で公開されているとおり、今回、当委員にどの様な応募があり、選任された委員が今後どの様な活動をするのか是非とも注視して頂ければ幸いです。	山 田	無

川越市農業委員会の農地利用最適化推進員候補者の推薦又は応募の状況

推薦又は応募する区域名:芳野【定数2】

	推薦 又は 応募 の別	被推薦者(推薦を受ける者)又は応募者(応募する者)				推薦者(推薦する者)						推薦又は応募の理由	推薦 又は 応募 する 区域	農業委 員への 推薦又 は応募 の有無
		氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	経 歴	農 業 経 営 の 状 況	個人による推薦		法 人 又 は 団 体 に よ る 推 薦						
				学歴 職歴 公職歴 その他の職歴 免許・資格・表彰歴	経営形態 営農類型(主な作物) 農業従事年数 年間農業従事日数 耕作面積	氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	組織の名称 代表者又は管理人 の氏名	活動の主 たる目的	構成員の 数(人)	構成員の 資格要件			
1	推薦	田口 秀明	農業 ・ 57 ・ 男	埼玉県農業大学校 園芸科(昭和62年4月～平成元年3月卒業) 農業(令和元年～現在) 鴨田第1自治会会長(平成28年4月～平成29年3月) 中型免許(昭和62年3月20日) 大型特殊免許(昭和62年)	経営形態 専業 営農類型(主な作物) 水稻、露地野菜、施設野菜(トマト、小松菜、スイートコーン、水稻) 農業従事年数 37年 年間農業従事日数 360日/年 耕作面積 195アール	大野 美智明	農業 ・ 67 ・ 男	—	—	—	—	【推薦理由】 田口氏は、農業を引き継ぎ、就農から38年の経験があり、農業者として豊富な経験を有し、農業経営にも精通しています。 田口氏は、地域の農業者の中でも中心的な存在として地域農業の発展に貢献しています。又、地域の農業の状況や農業の事情などに明るく地域の担い手や出し手の相談役になるなど、地域における信任が厚く担い手への農地集積や遊休農地発生の未然防止解消など農業委員会が行う農地利用最適化の推進に貢献できると考えられることから、田口氏を推薦します。 【候補者の抱負】 農地利用最適化推進委員として、担い手への農地利用の集積・集約化を図り、遊休農地の発生防止・解消に取り組んでいきたいと考えています。 芳野地区においても農業者の高齢化により、遊休農地の増加が加速する可能性が高いと予想されます。担い手の発掘や育成に取り組む地域農業の活性化を図っていきたいと考えておりますのでよろしくお願いします。	芳野	無

	推薦 又は 応募 の別	被推薦者(推薦を受ける者)又は応募者(応募する者)				推薦者(推薦する者)						推薦又は応募の理由	推薦 又は 応募 する 区域	農業委 員への 推薦又 は応募 の有無
		氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	経 歴	農 業 経 営 の 状 況	個人による推薦		法 人 又 は 団 体 に よ る 推 薦						
				学歴 職歴 公職歴 その他の職歴 免許・資格・表彰歴	経営形態 営農類型(主な作物) 農業従事年数 年間農業従事日数 耕作面積	氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	組織の名称 代表者又は 管理人の氏名	活動の主 たる目的	構成員の 数(人)	構成員の 資格要件			
2 推薦	須賀 宏	農業 ・ 67 ・ 男	教育大附属坂戸高等学校 農業機械科 (昭和50年4月～昭和53年3月 卒業) 山下ゴム(株)(昭和53年3月～令和元年9月) 農業(専業)(令和元年10月～現在) 荒川右岸用排水土地改良区地区総代 (令和2年11月～令和6年10月) 川越市保健推進員(令和6年11月～令和8年3月) 川越市農地利用最適化推進委員(令和6年2月～現在) 伊佐沼自治会会長(令和5年4月～令和6年3月) 芳野支会会長(令和5年4月～令和6年3月) いるま野農業協同組合初雁支店総代 (令和2年11月～令和8年10月) 普通免許(昭和53年1月18日) 大型特殊免許(農耕車)	経営形態 専業 営農類型(主な作物) 水稻 農業従事年数 41年 年間農業従事日数 260日/年 耕作面積 370アール	竹ノ谷 敏彦	会社員 (兼業 農業) ・ 71 ・ 男	—	—	—	—	【推薦理由】 須賀氏は就農から41年の経験があり、農業者として豊富な知識を有し、農業経営にも精通しています。 須賀氏は地域の農業状況や農家の事情などに明るく、地域の担い手や出し手の相談役になるなど、地域に貢献していますので農地集積、遊休農地発生の未然防止、解消など、農業委員会が行う農地利用最適化の推進に貢献できると考えることから須賀氏を推薦します。 【候補者の抱負】 近年、芳野地区においても、遊休農地が増えています。 又、この2～3年は離農や作付を減らす農家が加速しています。 農地利用最適化推進委員として、遊休農地の発生防止や解消、担い手への農地の集積・集約など農地利用の最適化に取り組んでいきたいと考えます。	芳野	無	

川越市農業委員会の農地利用最適化推進員候補者の推薦又は応募の状況

推薦又は応募する区域名:古谷【定数2】

	推薦 又は 応募 の別	被推薦者(推薦を受ける者)又は応募者(応募する者)				推薦者(推薦する者)						推薦又は応募の理由	推薦 又は 応募 する 区域	農業委 員への 推薦又 は応募 の有無
		氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	経 歴	農 業 経 営 の 状 況	個人による推薦		法 人 又 は 団 体 に よ る 推 薦						
				学歴 職歴 公職歴 その他の職歴 免許・資格・表彰歴	経営形態 営農類型(主な作物) 農業従事年数 年間農業従事日数 耕作面積	氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	組織の名称 代表者又は管理人 の氏名	活動の主 たる目的	構成員の 数(人)	構成員の 資格要件			
1	推薦	齊藤 豊	会 社 員 ・ 63 ・ 男	東京国際大学 商学部(昭和56年4月～昭和60年3月 卒業) 株式会社OSGウォーターテック(平成13年8月～現在) 農業(平成17年～現在) 中型免許(昭和56年3月4日)	経営形態 兼業 営農類型(主な作物) 水稻(米) 農業従事年数 21年 年間農業従事日数 200日/年 耕作面積 600アール	野村 廣	農 業 ・ 75 ・ 男	—	—	—	—	【推薦理由】 齊藤氏は農業を引き継ぎ就農から20年ですが、持ち前のバイタリティで水田農業に積極的に取り組み、農家の担い手として自ら活動しています。現在は兼業ですが、近い将来専業となることも検討中で、地域の農業団体のリーダーとして期待されています。 齊藤氏は地域農業の状況や農家の事情などにも明るく、地域の担い手への農地集積や遊休農地発生の未然防止や解消などにも努力しており、農業委員会が行う農地利用最適化の推進に大いに貢献できるものと思われるため推薦します。 【候補者の抱負】 農地利用最適化推進委員として、地区の農業者が抱えている問題である遊休農地の発生防止や解消と同時に農業の後継者作りに取り組んでいきたいと考えています。 古谷地区におきましても農業者の高齢化が進み遊休農地となりうる農地が増加傾向にあります。後継者不足も今後さらに深刻化が予想されますので担い手の発掘及び育成に取り組み地域農業を活性化させていきたいと考えておりますのでよろしくお願い致します。	古谷	無

	推薦又は応募の別	被推薦者(推薦を受ける者)又は応募者(応募する者)				推薦者(推薦する者)						推薦又は応募の理由	推薦又は応募する区域	農業委員への推薦又は応募の有無
		氏名	職業・年齢・性別	経歴	農業経営の状況	個人による推薦		法人又は団体による推薦						
				学歴 職歴 公職歴 その他の職歴 免許・資格・表彰歴	経営形態 営農類型(主な作物) 農業従事年数 年間農業従事日数 耕作面積	氏名	職業・年齢・性別	組織の名称 代表者又は管理人の氏名	活動の主たる目的	構成員の数(人)	構成員の資格要件			
2	推薦	杉浦 朗	農業・71・男	東京農業大学 短期大学農学部 (昭和49年4月～昭和51年4月 卒業) 農業(昭和51年4月～現在) 川越市農業委員会農地利用最適化推進委員 (令和6年2月8日～現在) JAIるま野農協理事(令和2年6月～令和5年6月) 荒川右岸土地改良区監事(令和5年11月～現在) 大型特殊免許(昭和48年12月) 大型免許(昭和62年4月)	経営形態 専業 営農類型(主な作物) 水稻 農業従事年数 50年 年間農業従事日数 300日/年 耕作面積 450アール	野村 廣	農業・75・男	—	—	—	—	【推薦理由】 杉浦氏は農業を引継ぎ、就農から50年の経験があり、農業者として豊富な経験を有し、その間にはJAIるま野の理事なども務めて農業経営にも精通しています。 また、杉浦氏は地域農業の状況や農家事情などに明るく、後進の就農者や農業の担い手への助言や支援などを積極的に行っており、地域における農業者のリーダーとして厚い信任を得ています。 このことから杉浦氏は、担い手への農地集積や遊休農地発生 of 未然防止・解消など、農業委員会が行う農地利用最適化の推進に大きく貢献できると考えられ、2期目となりますが推薦します。 【候補者の抱負】 担い手不足により、農地の保全ができず耕作放棄地が多くなり地域でも多くの問題が発生しているため農地の有効利用の促進、地域農業の活性化に取り組み地域の実情に応じた対応を行ない川越市の農業の発展に努めたいと思います。	古谷	無

川越市農業委員会の農地利用最適化推進員候補者の推薦又は応募の状況

推薦又は応募する区域名:南古谷【定数2】

	推薦 又は 応募 の別	被推薦者(推薦を受ける者)又は応募者(応募する者)				推薦者(推薦する者)						推薦又は応募の理由	推薦 又は 応募 する 区域	農業委 員への 推薦又 は応募 の有無
		氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	経 歴	農 業 経 営 の 状 況	個人による推薦		法 人 又 は 団 体 に よ る 推 薦						
				学歴 職歴 公職歴 その他の職歴 免許・資格・表彰歴	経営形態 営農類型(主な作物) 農業従事年数 年間農業従事日数 耕作面積	氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	組織の名称 代表者又は管理人 の氏名	活動の主 たる目的	構成員の 数(人)	構成員の 資格要件			
1	推薦	沢田 邦彦	農業 ・ 73 ・ 男	東洋大学 経済学部 経済学科 (昭和46年4月～昭和50年3月 卒業) 一般社団法人埼玉県環境事業振興協会 (平成6年3月～平成25年3月) 農業(平成25年4月～現在) いるま野農業協同組合南古谷支店支部長・総代 (平成23年4月～平成29年10月) 荒川右岸用排水土地改良区理事 (平成24年11月～平成28年10月) 荒川右岸用排水土地改良区監事 (平成28年11月～令和2年10月) 中型免許(昭和48年7月30日) 大型特殊(農耕車に限る)免許(令和5年11月28日)	経営形態 専業 営農類型(主な作物) 水稻(米) 農業従事年数 13年 年間農業従事日数 230日/年 耕作面積 150アール	栗原 政仁	農業 ・ 72 ・ 男	—	—	—	—	【推薦理由】 沢田氏は現在農業に携わっている他、JAや 荒川右岸用排水土地改良区の役員を歴任する等、農業に関わる豊富な経験と知識を有しています。 沢田氏は地域の農業者の中でも中心的な存在として地域農業の発展に貢献しています。また、地域の農業の状況や農家の事情などに明るく、地域の担い手や出し手の相談役になるなど、地域における信任が厚く、担い手への農地集積や遊休農地発生の未然防止、解消など、農業委員会が行う農地利用最適化の推進に貢献できることから推薦します。 【候補者の抱負】 近年、南古谷地区においても農業者の高齢化が進行し、また後継者未定の状態が続く中、労働力不足等が要因となる遊休農地や耕作放棄地が増加傾向にあります。地域農業経営には、厳しい労働環境の改善や気候変動など多くの外的要因で不安定な経営状態への対応など新たな課題も多く発生しております。 農地利用最適化推進委員として、遊休農地の発生防止や解消、農地利用最適化を目指し、担い手の発掘や育成に取り組むなど、担い手への農地の集積・集約を進めていきたいと考えており、農業を通して地域の活性化を行っていきたくて考えておりますのでよろしくお願いいたします。	南古谷	無

	推薦 又は 応募 の別	被推薦者(推薦を受ける者)又は応募者(応募する者)				推薦者(推薦する者)						推薦又は応募の理由	推薦 又は 応募 する 区域	農業委 員への 推薦又 は応募 の有無
		氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	経 歴	農 業 経 営 の 状 況	個人による推薦		法 人 又 は 団 体 に よ る 推 薦						
				学歴 職歴 公職歴 その他の職歴 免許・資格・表彰歴	経営形態 営農類型(主な作物) 農業従事年数 年間農業従事日数 耕作面積	氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	組織の名称 代表者又は 管理人 の氏名	活動の主 たる目的	構成員の 数(人)	構成員の 資格要件			
2	推薦	細野 健一	農業 ・ 64 ・ 男	日本大学 農獣医学部 農業工学科 (昭和56年4月～昭和60年3月 卒業) 川越市役所(昭和60年4月～令和5年3月) 農業(令和5年4月～現在) 荒川右岸用排水土地改良区総代(令和6年10月～現在) 南田島農地保全組合会計(令和4年4月～現在) 普通免許(昭和55年5月28日) 大型特殊免許(令和2年7月)	経営形態 専業 営農類型(主な作物) 水稻、露地野菜 (米) 農業従事年数 42年 年間農業従事日数 240日/年 耕作面積 2157アール	栗原 政仁	農業 ・ 72 ・ 男	—	—	—	—	【推薦理由】 細野氏は農業を引き継ぎ、就農から約41年の経験があり、農業者として豊富な経験を有し、農業経営にも精通しています。 細野氏は地域の農業者の中でも中心的な存在として土地改良区や農地保全組合などの活動にも取り組み、地域農業の発展に貢献しています。また、地域の農業の状況や農家の事情などに明るく、地域の担い手や出し手の相談役になるなど、地域における信任が厚く、担い手への農地集積や遊休農地発生の未然防止、解消など、農業委員会が行う農地利用最適化の推進に貢献できることから推薦します。 【候補者の抱負】 近年、南古谷地区においても農業者の高齢化、後継者不足等から遊休農地が増加傾向にあります。 農地利用最適化推進委員として、地区の農業者との話し合いを通じ遊休農地の発生防止や解消に取り組んでいきたいと考えています。 また、地域の農地利用の最適化を目指し、担い手の掘り起しや育成に取り組むほか、地域計画と連携した担い手への農地の集積。集約を進めるなど地域農業の維持、発展のため農業委員と協力して活動していきたいと考えております。	南古谷	無

	推薦 又は 応募 の別	被推薦者(推薦を受ける者)又は応募者(応募する者)				推薦者(推薦する者)						推薦又は応募の理由	推薦 又は 応募 する 区域	農業委 員への 推薦又 は応募 の有無
		氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	経 歴	農 業 経 営 の 状 況	個人による推薦		法 人 又 は 団 体 に よ る 推 薦						
				学歴 職歴 公職歴 その他の職歴 免許・資格・表彰歴	経営形態 営農類型(主な作物) 農業従事年数 年間農業従事日数 耕作面積	氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	組織の名称 代表者又は管理人 の氏名	活動の主 たる目的	構成員の 数(人)	構成員の 資格要件			
3 応募	小泉 茂	こい ずみ 行政 書士・ FP事 務所 (自 営) ・ 64 ・ 男	明治学院大学 社会学部 社会学科 (昭和56年4月～昭和60年3月 卒業) 株式会社タカキュー店長(昭和60年～平成12年4月) 株式会社スウェーデンハウス店長(平成12年5月～令和7年3月) こいずみ行政書士・FP事務所代表(令和7年12月～現在) 民生委員(南古谷地区渋井)(令和7年12月～現在) 普通自動車免許第一種運転免許(昭和58年8月23日) 中学校教諭一種免許状(社会科)(昭和60年3月31日) 1級ファイナンシャルプランニング技能士(資産設計提案業務) (平成20年11月12日) 宅地建物取引士(平成24年3月6日) 行政書士(令和7年11月15日)	経営形態 農業経営を行っていない 営農類型(主な作物) 農業従事年数 年間農業従事日数 耕作面積	—	—	—	—	—	—	【応募理由】 行政書士として相続や農地に関する相談に携わる中で、農業者の高齢化や後継者不足、農地の承継・活用の難しさを身近に感じています。 農地利用最適化推進委員として、地域の農業者の声を直接伺い、農地の適正利用や担い手への集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規就農者の確保に関わり、地域農業の持続的な発展に貢献したいと考え、応募しました。 【候補者の抱負】 農地の現地調査や農業者への聞き取りを丁寧に 率に行い、農地の状況だけでなく、所有者や耕作者が抱える事情や意向を把握することを大切にしたりと考えています。 その上で、担い手への農地の集積・集約化や遊休農地の解消、新規就農者とのマッチングなど、関係機関と連携しながら、一つひとつの農地を次の担い手につなぐ活動に取り組みます。 行政書士・ファイナンシャルプランナー(FP)としての経験も生かし、公平・誠実な現場活動を心掛けます。	南古谷	有	

川越市農業委員会の農地利用最適化推進員候補者の推薦又は応募の状況

推薦又は応募する区域名:高階【定数1】

推薦 又は 応募 の別	被推薦者(推薦を受ける者)又は応募者(応募する者)					推薦者(推薦する者)						推薦又は応募の理由	推薦 又は 応募 する 区域	農業委 員への 推薦又 は応募 の有無
	氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	経 歴	農 業 経 営 の 状 況	個人による推薦		法 人 又 は 団 体 に よ る 推 薦							
			学歴 職歴 公職歴 その他の職歴 免許・資格・表彰歴	経営形態 営農類型(主な作物) 農業従事年数 年間農業従事日数 耕作面積	氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	組織の名称 代表者又は管理人 の氏名	活動の主 たる目的	構成員の 数(人)	構成員の 資格要件				
1 応募	藤幸 誠悟	行政書士・77・男	東京大学 法学部Ⅱ類(昭和43年4月～昭和47年3月 卒業) 住友電気工業(株)(昭和47年4月～昭和48年10月) 中央政策研究所(昭和48年11月～昭和50年3月) 東京都庁(昭和50年4月～平成21年7月) 第一環境(株)(平成21年9月～平成26年7月) 川越市農業振興審議会委員(令和7年3月～令和9年2月) 普通自動車免許(昭和43年8月) 社会保険労務士(平成24年) 行政書士(平成30年4月15日)	経営形態 農業経営を行っていない 営農類型(主な作物) 農業従事年数 2年 年間農業従事日数 耕作面積 10坪(市民農園)	—	—	—	—	—	—	【応募理由】 「土地買いますか？3000坪ほどあるけど、市街化調整区域にあるので、どうしようない」と、たまたまお会いした近所の人に言われた。いわゆる遊休農地である。 以前、川島町で、4000坪の土地を乗馬クラブに転用しようとした業者が、「市街化調整区域にあるので、転用はできない」と言われた例もある。 遊休農地をめぐるミスマッチを解消できないかというのが、応募の動機である。 【候補者の抱負】 まず、「遊休農地バンク」のようなもので情報を提供する。需要と供給のマッチングが実現するかもしれない。数年前に、古谷地区で300坪ほどの農地を太陽光発電に転用する仕事に携わったことがある。需要と供給がマッチングした例である。 資材置き場として、3000坪の土地を探している不動産業者がいたが、適宜、適切な情報提供があれば、マッチングが期待できるかもしれない。	高階	無	

	推薦 又は 応募 の別	被推薦者（推薦を受ける者）又は応募者（応募する者）				推薦者（推薦する者）						推薦又は応募の理由	推薦 又は 応募 する 区域	農業委 員への 推薦又 は応募 の有無
		氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	経 歴	農 業 経 営 の 状 況	個人による推薦		法 人 又 は 団 体 に よ る 推 薦						
				学歴 職歴 公職歴 その他の職歴 免許・資格・表彰歴	経営形態 営農類型(主な作物) 農業従事年数 年間農業従事日数 耕作面積	氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	組織の名称 代表者又は 管理人 の氏名	活動の主 たる目的	構成員の 数(人)	構成員の 資格要件			
2 推薦	村山 芳則	農業 ・ 63 ・ 男	埼玉県立川越農業高等学校 農業土木科 （昭和53年4月～昭和55年3月 卒業） 農業(昭和55年4月～現在) 川越市農地利用最適化推進委員(令和6年2月～現在) JAいるま野農業協同組合高階支店総代 （令和2年11月～令和5年11月）	経営形態 専業 営農類型(主な作物) 露地野菜(ほうれん草、 里芋、枝豆) 農業従事年数 45年 年間農業従事日数 300日／年 耕作面積 110アール	萩原 真一	不動産 貸付 ・ 62 ・ 男	—	—	—	—	【推薦理由】 村山氏は就農から長年の経験があり、農業者として豊富な経験を有し農業経営にも精通してまいりました。また、農業協同組合の地域役員、農家組織役員の経験から地域の農業者の中でも中心的な存在として地域農業の発展に貢献しております。村山氏であれば担い手への農地集約、遊休農地未然防止・解消など、農業委員会が行う農地利用最適化の推進に貢献できると考えることから推薦いたします。 【候補者の抱負】 農地利用最適化推進委員として、地区の農業委員、農業者と連携をして、地域の農地利用の最適化を目指し、遊休農地の発生防止や解消、担い手の発掘・育成に取り組んでいきたいと考えております。 更には、農業を通じて地域の活性化に貢献したいと考えております。よろしくお願いします。	高階	無	

川越市農業委員会の農地利用最適化推進員候補者の推薦又は応募の状況

推薦又は応募する区域名: 福原 【定数2】

	推薦 又は 応募 の別	被推薦者(推薦を受ける者)又は応募者(応募する者)					推薦者(推薦する者)					推薦又は応募の理由	推薦 又は 応募 する 区域	農業委 員への 推薦又は 応募の有無
		氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	経 歴	農 業 経 営 の 状 況	個人による推薦		法 人 又 は 団 体 に よ る 推 薦						
				学歴 職歴 公職歴 その他の職歴 免許・資格・表彰歴	経営形態 営農類型(主な作物) 農業従事年数 年間農業従事日数 耕作面積	氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	組織の名 称 代表者又は 管理人 の氏名	活動の主 たる目的	構成員の 数(人)	構成員の 資格要件			
1	推薦	森井 伊久雄	農業 ・ 62 ・ 男	筑波大学付属坂戸高校 機械科(昭和55年4月～昭和58年3月 卒業) 農業(昭和59年4月～現在) JALいるま野福原支店総代(令和2年11月～令和5年10月) 普通免許(昭和59年8月20日)	経営形態 専業 営農類型(主な作物) 露地野菜 (人参・チンゲン菜) 農業従事年数 45年 年間農業従事日数 300日 耕作面積 1307アール	塩川 光男	農業 ・ 71 ・ 男	—	—	—	—	【推薦理由】 森井氏は農業を引き継ぎ、就農から45年の経験があり、農業者として豊富な経験を有し、農業経営に精通しています。 森井氏は地域の農業者の中でも中心的な存在として地域農業の発展に貢献しています。 また地域の農業の状況や農家の事情などに明るく、地域の担い手や出し手の相談役になるなど地域における信任が厚く、担い手への農地集積や遊休農地発生の未然防止、解消など、農業委員会が行う農地利用最適化の推進に貢献できると考えられるから森井氏を推薦します。 【候補者の抱負】 福原地区も後継者不足、高齢化問題、地域の農業者と話し合って農業の活性化を図っていきたいと思います。 また、地域農地利用の最適化を目指し、担い手の発掘や育成に取り組むなど、担い手への農地の集積・集約を進めていきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。	福原	無

	推薦 又は 応募 の別	被推薦者(推薦を受ける者)又は応募者(応募する者)				推薦者(推薦する者)						推薦又は応募の理由	推薦 又は 応募 する 区域	農業委 員への 推薦又 は応募 の有無
		氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	経 歴	農 業 経 営 の 状 況	個人による推薦		法 人 又 は 団 体 に よ る 推 薦						
				学歴 職歴 公職歴 その他の職歴 免許・資格・表彰歴	経営形態 営農類型(主な作物) 農業従事年数 年間農業従事日数 耕作面積	氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	組織の名 称 代表者又 は管理人 の氏名	活動の主 たる目的	構成員の 数(人)	構成員の 資格要件			
2	推薦	吉田 哲夫	農業 ・ 67 ・ 男	川越農業高校 園芸科(昭和50年4月～昭和53年3月 卒業) 農業(昭和53年4月～現在) JAいるま野福原支店総代(令和5年11月～令和8年10月) 普通免許(昭和54年10月25日)	経営形態 専業 営農類型(主な作物) 露地野菜 (小かぶ、枝豆) 農業従事年数 49年 年間農業従事日数 200日/年 耕作面積 2407ール	塩川 光男	農業 ・ 71 ・ 男	—	—	—	—	【推薦理由】 吉田氏は農業を引き継ぎ、就農から49年の経験があり、農業者として豊富な経験を有し、農業経営にも精通しています。また、農地の利用集約化に自ら積極的に取り組み、営農を行っているなど地域の農業の発展に貢献しています。また、吉田氏は地域の農業の事情などに明るく、地域において後進の就農者への助言や農地の出し手の紹介など、担い手への支援を行うなど地域における信任が厚いことから、担い手への農地集積や遊休農地発生の未然防止、解消など農業委員会が行う農地利用最適化の推進に貢献できると考えられることから、吉田氏を推薦します。 【候補者の抱負】 近年、福原地区も高齢化、後継者不足が進行しています。農地利用最適化推進委員として、地域の農業者と話し合いながら、農業の活性化を図っていきたいと考えています。遊休農地の発生防止、担い手の発掘や育成に取り組んでいきたいと考えておりますのでよろしくお願いします。	福原	無

川越市農業委員会の農地利用最適化推進員候補者の推薦又は応募の状況

推薦又は応募する区域名:大東【定数2】

	推薦 又は 応募 の別	被推薦者(推薦を受ける者)又は応募者(応募する者)				推薦者(推薦する者)						推薦又は応募の理由	推薦 又は 応募 する 区域	農業委 員への 推薦又 は応募 の有無
		氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	経 歴	農 業 経 営 の 状 況	個人による推薦		法 人 又 は 団 体 に よ る 推 薦						
				学歴 職歴 公職歴 その他の職歴 免許・資格・表彰歴	経営形態 営農類型(主な作物) 農業従事年数 年間農業従事日数 耕作面積	氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	組織の名 称 代表者又 は管理人 の氏名	活動の主 たる目的	構成員の 数(人)	構成員の 資格要件			
1	推薦	岡島 秀樹	農業 ・ 69 ・ 男	埼玉県立松山高校(昭和47年4月～昭和50年3月 卒業) (株)ホンダロジスティクス(昭和57年4月～令和元年11月) 農業(令和元年12月～現在) 川越市学校運営協議会委員(令和8年4月～現在) 寿町一丁目自治会会長・副会長(令和3年4月～現在) 大型特殊免許(農耕車に限る)(平成29年11月) 中型免許(昭和50年5月) 防火管理者(平成14年10月)	経営形態 自家消費 営農類型(主な作物) 水稻 農業従事年数 7年 年間農業従事日数 200日/年 耕作面積 110アール	荻野 勝美	農業 ・ 67 ・ 男	—	—	—	—	【推薦理由】 「岡島 秀樹」氏は企業を定年退職後、家業の農家を引き継ぎ約7年間営農しておられ、作付けは主に水稻を栽培しており農業者としての経験や知識は申し分ないと思います。 また、同氏は自治会の会長としても日々活躍されており、地区の方達からの人望も厚く、地域の農業や農家の事情などに明るく、近隣農家や農地に対しての気配りに長けていて後進への助言や営農についてのアドバイス等諸々の事に期待できる人材だと思います。 以上のことから農業委員会が行う農地利用最適化の推進に貢献出来ると考えられる事から、同氏を推薦致します。 【候補者の抱負】 農業の高齢者不足や遊休農地の増加は、地域農業を維持するうえで大きな課題です。 若い世代が農業に興味を持ち、将来の職業として選択できる環境づくりに取り組みたいです。 また、地域の方々と協力し遊休農地を有効活用するとともに、新しい技術を取り入れ魅力ある農業を実現したい。そして地域農業を守る担い手となれるよう、行動していきたいです。	大東	無

	推薦 又は 応募 の別	被推薦者(推薦を受ける者)又は応募者(応募する者)				推薦者(推薦する者)						推薦又は応募の理由	推薦 又は 応募 する 区域	農業委 員への 推薦又は 応募の有無
		氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	経 歴	農 業 経 営 の 状 況	個人による推薦		法 人 又 は 団 体 に よ る 推 薦						
				学歴 職歴 公職歴 その他の職歴 免許・資格・表彰歴	経営形態 営農類型(主な作物) 農業従事年数 年間農業従事日数 耕作面積	氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	組織の名称 代表者又は 管理人の氏名	活動の主 たる目的	構成員の 数(人)	構成員の 資格要件			
2	推薦	田 中 薫	農業・漬物製造業・70・男	東京教育大学附属坂戸高校 農業科(昭和46年4月～昭和49年3月 卒業) 東京農業大学 農学部 農芸化学科(昭和49年4月～昭和53年3月 卒業) 東京農業大学大学院 農学部 農芸化学科(昭和53年4月～昭和55年3月 修了) 東京農業大学農芸化学科(昭和55年4月～平成元年3月) NPO法人日本農学図書館協議会(平成元年4月～平成27年) 農業(平成23年5月～現在) 高橋自治会会長(令和4年4月～令和6年3月) 小型特殊免許(平成22年3月19日) 準中型免許(平成22年10月27日)	経営形態 兼業 営農類型(主な作物) 水稲、露地野菜(白菜) 農業従事年数 15年 年間農業従事日数 255日 耕作面積 607ール	渡邊 昭男	農業・75・男	—	—	—	—	【推薦理由】 田中氏は農業を引き継ぎ、就農から15年の経験があり、農業者として豊富な経験を有し農業経営にも精通しています。 田中氏は地域の農業者の中でも中心的な存在として地域農業の発展に貢献しています。また、地域の農業の状況や農家の事情などに明るく、地域の担い手や出し手の相談役になるなど、地域における信任が厚く、担い手への農地集積や遊休農地発生の未然防止、解消など、農業委員会が行う農地利用最適化の推進に貢献できると考えられることから、田中氏を推薦します。 【候補者の抱負】 農地利用最適化推進委員として、遊休農地の発生防止や解消、担い手への農地の集積・集約など、農地利用の最適化に取り組んでいきたいと考えています。 大東地区においても、農業者の高齢化が進行し、遊休農地や近い将来に遊休農地になる可能性が高い農地が増加しており、担い手の発掘や育成に取り組み、農地の集積集約に積極的に取り組むことにより、地域農業の活性化を図っていきたいと考えておりますので、よろしくお願いします。	大東	無

川越市農業委員会の農地利用最適化推進員候補者の推薦又は応募の状況

推薦又は応募する区域名:霞ヶ関【定数1】

	推薦 又は 応募 の別	被推薦者(推薦を受ける者)又は応募者(応募する者)					推薦者(推薦する者)						推薦又は応募の理由	推薦 又は 応募 する 区域	農業委 員への 推薦又 は応募 の有無
		氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	経	歴	農 業 経 営 の 状 況	個人による推薦		法 人 又 は 団 体 に よ る 推 薦						
				学歴 職歴 公職歴 その他の職歴 免許・資格・表彰歴	経営形態 営農類型(主な作物) 農業従事年数 年間農業従事日数 耕作面積	氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	組織の名 称 代表者又 は管理人 の氏名	活動の主 たる目的	構成員の 数(人)	構成員の 資格要件				
1	推薦	犬竹 幸喜	農業 ・ 61 ・ 男	専修大学 商学部 商業学科(昭和58年4月～昭和62年3月 卒業) 川越市(昭和63年4月～令和7年3月) 農業(平成22年～現在) 霞ヶ関西小学校PTA会長(平成22年4月～平成23年3月) 普通免許(昭和58年11月10日)	経営形態 専業、自家消費 営農類型(主な作物) 水稻、露地野菜、果樹 (梅、栗) 農業従事年数 16年 年間農業従事日数 300日/年 耕作面積 200アール	時田 重雄	農業 ・ 67 ・ 男	—	—	—	—	【推薦理由】 犬竹氏は責任感が強く、倉ヶ谷戸自治会の役員、野戸池水利組合の役員も務めています。又、就農は約20年の経験があり2年前から定年になり農地の拡大を行っていて農業者として経験と知識を有しており農業経営にも精通しています。 犬竹氏は地域の農業状況や農家の事業などに明るく地域の農業者の中において中心的な存在として地域農業の発展に貢献しており農業委員会が行う農地利用最適化の推進や農業の更なる発展に貢献できると考えられますことから犬竹氏を推薦します。 【候補者の抱負】 農地利用最適化推進委員として、生まれ育った地域の大切な農地を将来につなぐため、遊休農地の発生防止と解消、担い手への農地の集積・集約に取り組んでまいります。地域では、農業者の高齢化が進み、耕作継続が難しくなるケースも増加しています。 農地の状況や農業者の声を把握し、所有者、担い手、関係機関との調整を図るとともに、新たな担い手の発掘・育成にも努めます。 農地を地域の貴重な資源として有効に活用し、良質な景観の維持や保水機能の保全にもつなげながら、地域農業の維持と活性化に貢献できるよう取り組んでいきたいと考えております。	霞ヶ関	無	

川越市農業委員会の農地利用最適化推進員候補者の推薦又は応募の状況

推薦又は応募する区域名:名細【定数1】

	推薦 又は 応募 の別	被推薦者(推薦を受ける者)又は応募者(応募する者)					推薦者(推薦する者)						推薦又は応募の理由	推薦 又は 応募 する 区域	農業委 員への 推薦又 は応募 の有無
		氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	経 歴	農 業 経 営 の 状 況	個人による推薦		法 人 又 は 団 体 に よ る 推 薦							
				学歴 職歴 公職歴 その他の職歴 免許・資格・表彰歴	経営形態 営農類型(主な作物) 農業従事年数 年間農業従事日数 耕作面積	氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	組織の名称 代表者又は管理人 の氏名	活動の主 たる目的	構成員の 数(人)	構成員の 資格要件				
1	推薦	滝本 克武	農業 ・ 68 ・ 男	私立豊南高校 普通科(昭和49年4月～昭和52年3月 卒業) JAいるま野農協(昭和52年4月～平成29年3月) 農業(平成28年～現在) 平塚自治会・会長・副会長・会計(令和4年4月～令和5年3月) 中型免許(昭52年4月1日)	経営形態 自家消費 営農類型(主な作物) 自家用野菜 農業従事年数 10年 年間農業従事日数 180日／年 耕作面積 107ール	新井 博行	農業 ・ 76 ・ 男	—	—	—	—	【推薦理由】 滝本克武氏は農業を引き継ぎ、就農から8年の経験があり、農業者として豊富な経験を有し、農業経営にも精通しています。今名細(鯨井)地区で進めている農地集約化に自ら積極的に取り組み、役員として責任を持って、地区の代表として行い農業の発展に貢献しています。また滝本克武氏は農業を引き継ぐ前JAいるま野農協に40年勤務農業経験の勉強等に取り組み農業の状況や農家の事情などに明るく、地域において後進の就農者への助言や農地の出し手の紹介など、担い手への農地集積や遊休農地発生の未然防止、解消など、農業委員会が行う農地利用最適化の推進に貢献できると考えられることから滝本克武氏を推薦します。 【候補者の抱負】 今、名細地区(鯨井)において進めている農地の集約集積について関係機関の元、会議を開催している中でどうしても農業者の高齢化が進み近い将来遊休農地が多くなる可能性をおそれ、にないての後継者等他、農地の集約等により地域農業の活性化を図っていきたいと考えております。	名細	無	